

令和5年度 神村学園専修学校

学校評価委員会 議事録

令和6年3月9日（土）

神村学園専修学校

1. 開会のあいさつ

神村慎二校長よりあいさつ。

年に1回のこの機会、委員の皆さまからのご意見やご助言をいただき、大切にしたいと考えている。

黒木副校長より、外部評価委員・本校職員の紹介。

2. 委員会の趣旨・目的等について

黒木副校長より、学校評価の目的、定義と流れについて、資料に基づき説明。

※資料「学校評価の目的、定義と流れ」

議長選出：(議長) 神村慎二 校長 (副議長) 松ヶ野 透 副校長

黒木副校長より、令和5年度 自己点検・評価について、「自己点検・評価報告書」を説明する。

各項目ともに、3（ほぼ適切）との評価であった。

3. 報告事項

各学科より募集状況・国家試験合格者数・就職状況等を報告
国家試験の合格者（予想）の報告。

① 理学療法学科（中森）

若い教員とベテランの先生方との融合をめざす

国家試験の合格率100%が目標

② 作業療法学科（日高）

作業療法士について、外部委員に説明

国家試験の取り組みの紹介

③ 看護学科（三ツ野）

本校看護学科の説明と紹介

国家試験の結果について

就職先の分布について

令和5年度卒業生（留学生）の紹介

④ こども学科（柏木）

こども学科の紹介。コミュニケーション能力に課題を抱えた学生も多い。

長期高度人材育成コースの紹介

就職サポートとして、県内を勧めていく

⑤ 日本語学科（大山）

全ての卒業生の進路が決まっている。

特定技能・JLPTの説明

多くのボランティアに学生たちは挑戦した

教員もイベント等の講師を依頼されるようになってきた

<質疑応答>

山下委員：

ころばん体操に神村学園も参画され、この体操自体が全国でもかなり先んじて取り組んでいるもので、自己点検・評価報告書にある「社会貢献」という意味では、素晴らしいことだと思う。

神村議長：

2種免許の運転手、保育士など、外国人に任せられるようになってきた。

宮内委員：

コロナ禍はオンラインでの講義などで工夫して対応されてこられたと思うが、現状では行っていないのか。

三ツ野看護学科長：

必要性がある場合、感染防止対策（国家試験前）として行うこともあるが、基本は対面で実施する。

島谷委員：

実習における日誌の書き方について。実習では書き方についてかなり厳しいと思うが、実際の仕事ではPCで管理したりなど、そう大変ではないということを伝えてほしい。

神村議長

その他、ご意見・ご質問などなければ、議事を終了いたします。

ありがとうございました。

4. 閉会のあいさつ

松ヶ野副校長より、外部評価委員の方々へお礼で会を閉会する。